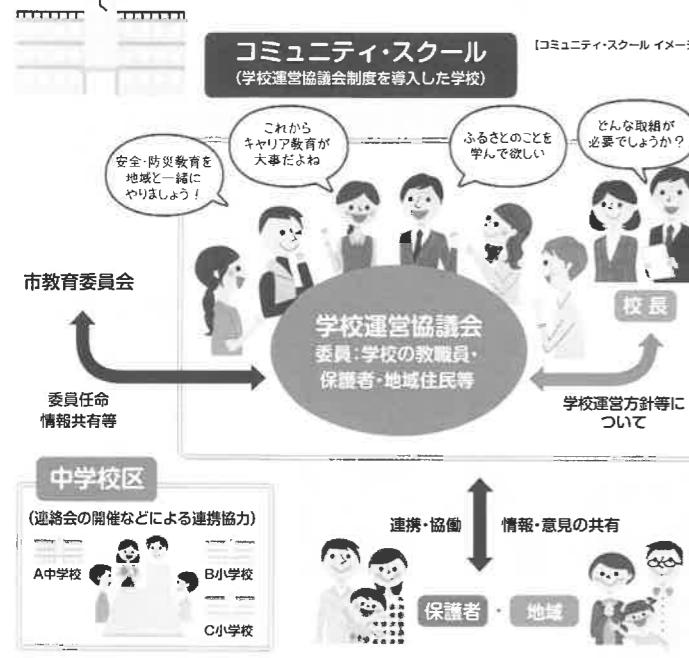


コミュニティ・スクール導入始動

～学校・地域・保護者が連携 「地域の子は地域全体で育てる」～

コミュニティ・スクールって？

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者、地域住民等で構成された「学校運営協議会」を導入した学校のことです。



参考資料 コミュニティ・スクールがスタートします！(今治市教育委員会)

Q&A コミュニティ・スクールってどんなの？

～既にコミュニティ・スクールが導入された3校に聞いてみました～

Q 従来の学校評議員会との違いを教えてください。

また、実際大きく変わった、と感じることがあれば教えてください。

A 学校評議員会では、学校の教育活動について成果と課題を説明した後、指導・助言をいただくという形をとっていた。学校運営協議会では、学校の課題や困りごとについて一緒に考え、対応策・解決策を提案していただくようになった。地域住民の方々の学校への関心が、昨年よりも高まった。学校の教育活動を知っていただく機会が増え、地域の方により協力を得やすくなつた。

Q 貴校の学校運営協議会委員は、どのような方で、何名で構成されていますか？

A 常盤小学校 15名、波止浜小学校 14名、玉川中学校 10名。学校（校長・教頭・教務主任）保護者（PTA会長・役員など）地域の方（公民館長・自治会長・婦人会・学識経験者・PTA会長OB・NPO法人理事長・主任児童委員など）

Q 学校運営協議会は、今までに何回開催されましたか？

A 4~5回

Q 学校運営協議会では、どのようなことが話し合わされましたか？

A 学校の経営方針・活動報告・学校評価・PTA行事について / 地域との連携活動・行事の計画の調整 / 働き方改革・業務改善について / 児童の安全確保・生徒指導についての情報交換

Q コミュニティ・スクールを導入にして、よかつたと思うことを教えてください。

A ·学校だけでは解決できない課題が多い中、より良い解決方法を地域・保護者・学校がそれぞれの立場で、一体となって考える事により、地域内相互のつながりが生まれ、「地域の子は、地域全体で育てる」という意識が少しづつではあるが浸透し始めたように思う。（常盤小学校）
·地域の協力が得やすくなった。学校・保護者・地域の方が一堂に会する機会ができ、つながりを深化させるきっかけとなりお互いの距離が近くなった。児童の参加が増えたことで、地域行事の活性化につながった。（波止浜小学校）
·学校の課題、困りごとを各種団体の代表者と共有し、対応策を提案していただいたこと、学校として様々なことを頼みやすくなつた（玉川中学校）

輝くひとみ

第28号

令和2年3月15日発行
今治市PTA連合会
ホームページアドレス
<http://www.imabariicitypta.jp>

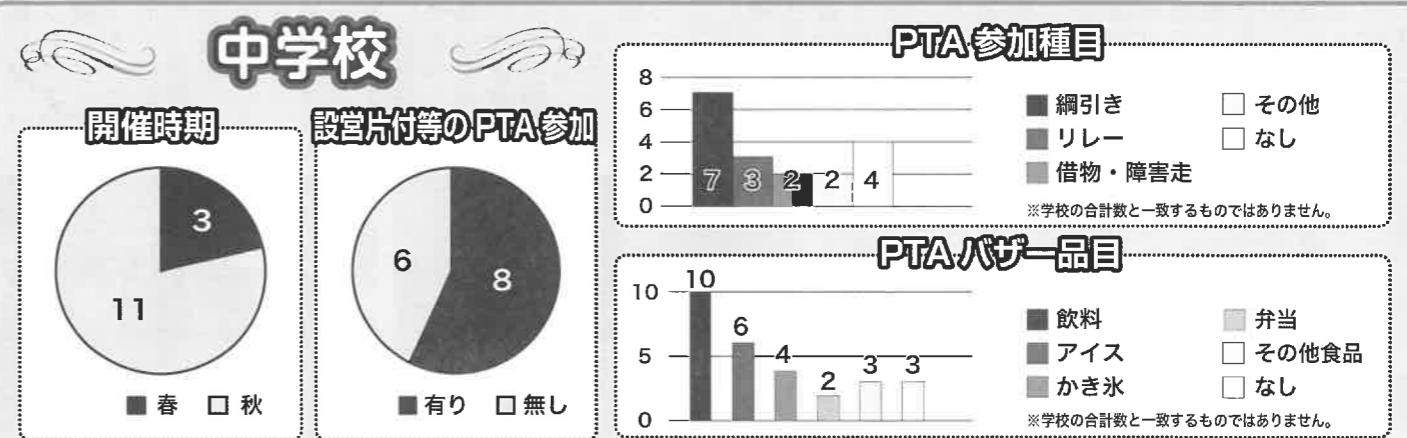
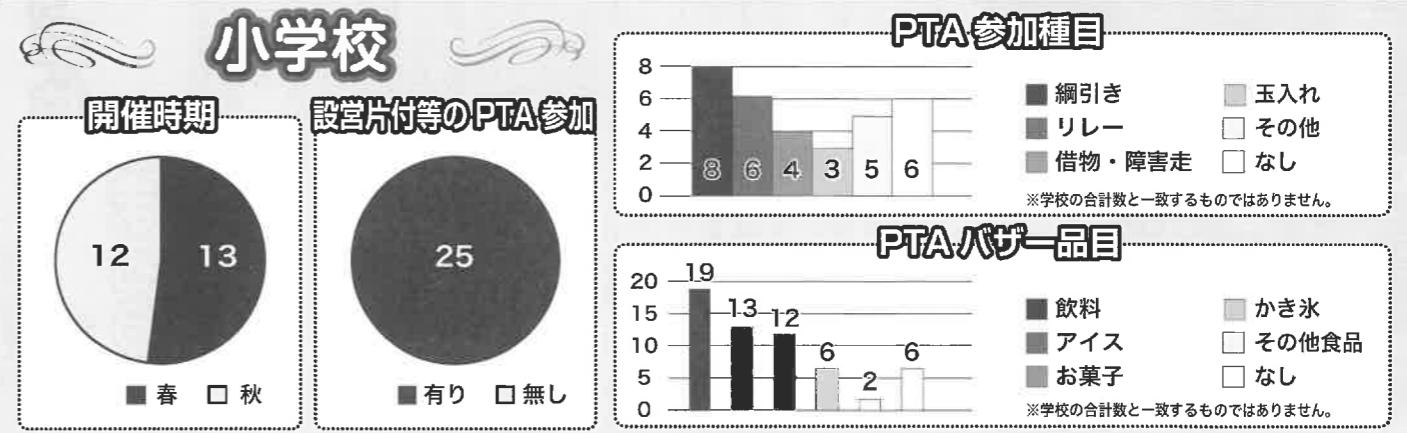
令和初の運動会

～各校の取り組み～

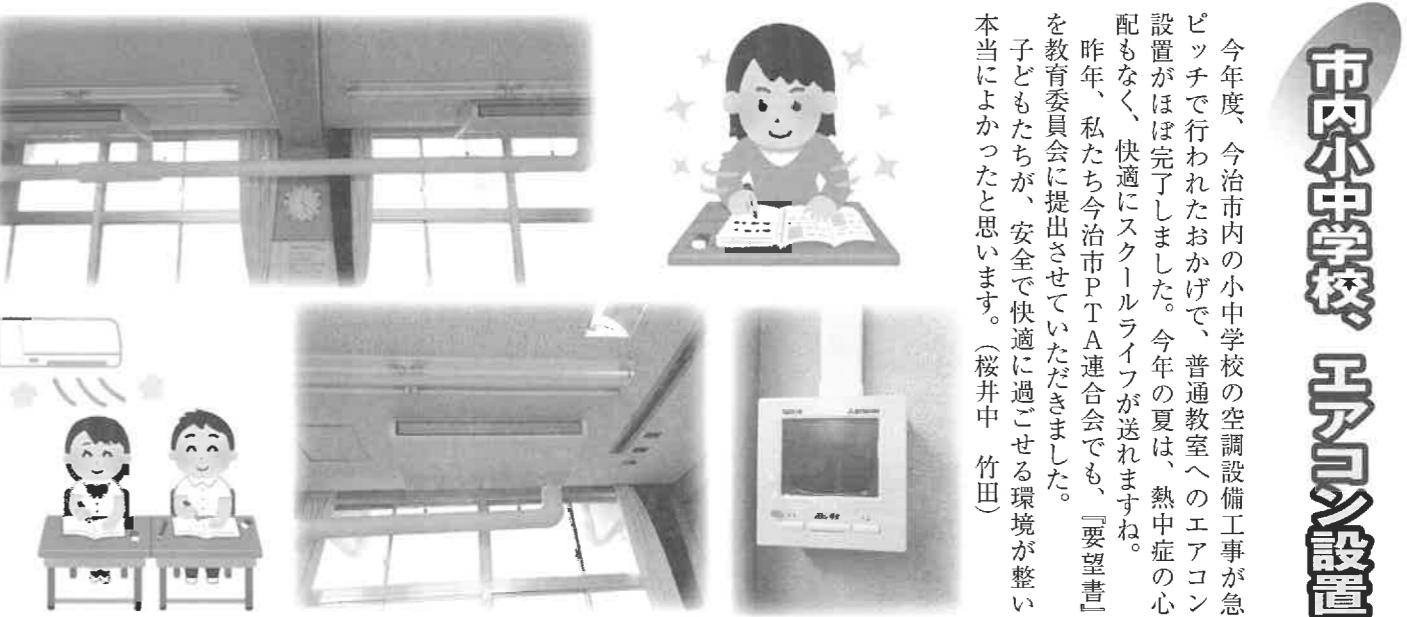
令和初の運動会が各学校春季、秋季と行われました。

PTAとしても多数の参加協力があつたと思われます。皆さん大変お疲れ様でした。

それぞれの学校、主にPTA活動について聞き取り集計を行いましたので、ご参考ください。（伯方中 織田）



各学校のPTAならびに教職員の皆様アンケートにご協力ありがとうございました。



編集
後記

みなさまのご協力のもと「輝くひとみ28号」を無事発刊できましたことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。
今年度は、普通教室へのエアコン設置やコミュニティ・スクールの始動など、各学校にも新しい風が吹きました。我が市PDA連もフェイスブックの立ち上げやホームページの充実など、新風を起こすことができました。特にフェイスブックにおきましては、たくさんの方にご覧いただき、また、「いいね」もいただき、誠にありがとうございました。これからも、リアルタイムでの情報提供に心がけ、みなさまにお届けできるようがんばってまいります。今後も、何卒よろしくお願ひいたします。

ホームページ <http://imabariicitypta.jp>

市内小中学校
エアコン設置